

認 定 証

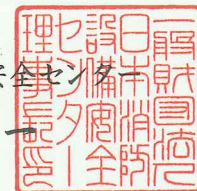
種 別	消火設備（消火設備用合成樹脂製の管及び管継手）
型 式 記 号	PEFD-83
適 用 規 格	B018-19・B019-19
申 請 者 名	所 在 地 大阪府大阪市北区西天満2-4-4
	名 称 積水化学工業株式会社
	代 表 者 代表取締役社長 加藤 敬太
認 定 番 号	PL-061号
認 定 年 月 日	平成30年（2018年）11月27日
認 定 有 効 期 限	令和07年（2025年）03月31日

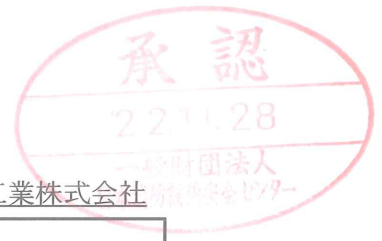
上記適用規格に適合するものであることを認定します。



一般財団法人 日本消防設備安全センター

理事長 北 崎 秀 一





項 目		明 細		
1	型式記号	PEFD-83		
2	呼び径	150	A	
3	最高使用圧力	1.6	MPa	
4	最大支持間隔	2.0	m	
5	材質	規格 建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格 消火配管用ポリエチレン管(PWA008) 消火配管用ポリエチレン管継手(PWA009)		
	材質	高密度ポリエチレン		
	引張・降伏強さ	規格値 20.0	N/mm ²	
		試験値 24.7	N/mm ²	
6	管継手の種類	直管150、EFソケット150、90°ショートヘント150、SPチーズ150×150、フランジ短管150G形JIS20K、フランジ短管150F形JIS20K、SPキャップ150、レデュサ150×100、レデュサ150×125、 SPチーズ150×100		
7	接続方法(方式)	EF接合		
8	等価管長	90°ショートヘント150	12.3 m	
		SPチーズ150×150(直流)	3.0 m	
		SPチーズ150×150(分流)	12.6 m	
		レデュサ150×100	5.0 m	
		レデュサ150×125	3.7 m	
		SPチーズ150×100(直流)	2.8 m	
		SPチーズ150×100(分流)	8.7 m	
9	用いることができる消火剤	なし		
10	特殊試験項目	気密試験	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
		長期静水圧試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
		耐薬品性試験	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
		耐候性試験	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
		耐熱性試験	標準耐熱性試験	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
			軽易耐熱性試験	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
		高難燃ノンハロゲン性試験	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
11	適用消火設備	屋内消火栓設備	<input checked="" type="radio"/> 該 当 <input type="radio"/> 非 該 当	
		屋外消火栓設備	<input checked="" type="radio"/> 該 当 <input type="radio"/> 非 該 当	
		スプリンクラー 設備	湿式	<input checked="" type="radio"/> 該 当 <input type="radio"/> 非 該 当
			乾式	該 当 <input checked="" type="radio"/> 非 該 当
			一斉開閉弁の二次側	該 当 <input checked="" type="radio"/> 非 該 当
		水噴霧消火設備	湿式	<input checked="" type="radio"/> 該 当 <input type="radio"/> 非 該 当
			乾式	該 当 <input checked="" type="radio"/> 非 該 当
泡消火設備 (但し、消火剤混合装置の一次側で水配管に限る)	湿式	<input checked="" type="radio"/> 該 当 <input type="radio"/> 非 該 当		
	乾式	該 当 <input checked="" type="radio"/> 非 該 当		

申請者 積水化学工業株式会社

(1) 使用する消火設備の種類、湿式・乾式の別、使用する部位、設置場所

- | | | |
|---------|-----|---------------------------------------|
| 消火設備の種類 | ・・・ | 合成樹脂製管及び管継手 |
| 湿式・乾式の別 | ・・・ | 湿式 |
| 使用する部位 | ・・・ | 配管 |
| 設置場所 | ・・・ | 屋内/屋外消火栓設備、スプリンクラー設備
水噴霧消火設備、泡消火設備 |

(2) 使用する材料のミルシート又は強度検査成績表
技術資料添付

(3) 管及び管継手の接続方法、施工方法

接続方法はEF接合であり、管継手内に埋め込まれた電熱線に電流を流すことにより、管表面と管継手内面を同時に溶かして融着・接合します。溶けた樹脂は体積が増加し、界面に圧力が生じて管と管継手は融着され、完全に一体化します。

施工方法

- | | | |
|-----------|---------------|------|
| ① 管の切断 | ⑤ 融着面の切削 | ⑨ 融着 |
| ② 管の清掃 | ⑥ 継手内面と管外面の清掃 | ⑩ 冷却 |
| ③ 挿入標線の記入 | ⑦ 継手と管の固定 | ⑪ 検査 |
| ④ 切削面の記入 | ⑧ 融着準備 | |

(4) 管等(管に管継手を接続した試験試料の図面)
図面添付

(5) 支持方法を含めた設置方法

配管の支持は、横走り配管にあつては棒鋼吊り及び形鋼振れ止め支持、立て管にあつては形鋼振れ止め支持とする。

(6) 加圧送水装置から端末機器(スプリンクラーヘッド等)までの間で使用する部位を明らかにした代表的な設備系統図

